

12月1日 上閉伊酒造と青笹小児童の「収穫祭」

お米作りのおいしい「まとめ」

収穫祭は青笹地区センターで開かれ、上閉伊酒造(株)と農家・奥寺晴夫さん(青笹町)、遠野山・里・暮らしネットワークの協力で田植えや稲刈りを体験した青笹小5年22人が参加。餅をついて収穫の喜びを分かち合いました。同社と青笹小は、6年前からお米ができるまでの過程を学ぶ総合学習を継続しています。



元気な声を響かせながら餅つきした児童ら

11月29日 第43回バレエスタジオ発表会

コロナ休止乗り越え華麗に舞う

バレエスタジオ発表会は市民センター大ホールで開かれ、幼児から社会人の団員30人が華やかな舞いを披露。7つの演目を発表し、訪れた保護者ら約100人を魅了しました。



息の合った美しい舞いで観客を魅了

新型コロナウイルスの影響で約4カ月活動を休止。限られた練習期間で練り上げた表現豊かな発表に、観客から大きな拍手が送られました。

11月11日 第19回遠野地区中学校総合文化祭

輝け未来、日々の活動披露

中学校総合文化祭は新型コロナ対策のため参加者を制限し、市民センター大ホールで開かれました。遠野中学生会長の打越勇人さん(3年)が「交流を通して輝く未来にながへ一歩にしましょう」と思いを込め開幕。市内中学校3年生を中心に合唱や意見発表など日頃の文化活動を披露し、交流を深めました。



各校吹奏楽部の合同演奏

各校吹奏楽部の合同演奏

11月8日 令和2年度遠野市防火PR駅伝

火の用心掲げ市内で駅伝

火災が多くなる季節を前に、市内に火災予防意識を啓発しようと防火PR駅伝(市消防本部主催)が開催されました。消防団員や小学生ら11人が火の用心と書かれたたすきなどを身に付けながら市内をリレーで疾走。市総合防災センターを出発し、青笹・上郷・土淵にまたがる23.5キロを走り抜きました。



グータッチで中継するランナー

グータッチで中継するランナー

12月3日 第46回遠野物語ファンタジー旗揚げ会

市民の舞台づくりスタート!

市民の舞台・遠野物語ファンタジーの46作目『遠野猫譚』の旗揚げ会はあえりあ遠野で行われ、関係者ら約40人が公演に向けて士気を高めました。今作は、個性的な登場人物たちが勘違いに勘違いを重ねて騒動を起こす喜劇。公演は客席を制限し、第2回公演を遠野テレビで生放送する予定です。(詳細は7頁へ)



今作に出演するキャストの皆さん

今作に出演するキャストの皆さん

12月2日 遠野緑峰高で「明けがらす」作り

高校生が地域の食文化を学ぶ

地域との協働による体験活動が遠野緑峰高で行われ、同高1年生57人が遠野の食文化への理解を深めました。遠野市食生活改善推進員の指導を受け、栄養価にも配慮した小松菜入り明けがらすを作りました。生徒は、遠野の伝統的な和菓子作りを通して地域の生活の知恵を学び、自身の食生活も見直しました。



協力して明けがらすを作る生徒たち

協力して明けがらすを作る生徒たち

11月21日 明日の遠野の環境を考えるフォーラム2020

地域の自然守る思いをつなぐ

同フォーラムはあえりあ遠野で開かれ、市民ら30人が参加しました。千葉風佳さん(遠野北小4年)がホテルの生態、佐々木柁治さん(遠野西中1年)が身近な環境問題対策の研修を発表したほか、社会福祉法人睦会の松田賢雄さんが廃食油再利用の事業を紹介。参加者は、豊かな環境の継承へ思いを新たにしました。



優れた環境保全活動の表彰も行われました

優れた環境保全活動の表彰も行われました

11月18日 令和2年度消防ポンプ自動車配置式

地域を守る消防新車両配置

配置式は市総合防災センターで開かれ、第3分団第2部(小友中央地区)に消防ポンプ自動車1台が配置されました。式には、同分団2部の団員と関係者ら約20人が参加。本田市長から市消防団の松田克之消防団長に配置書が交付され、団員は安全安心を守る決意を新たにしました。車両更新費用は2,255万円です。



新車両を確認する小友町の消防団員ら

新車両を確認する小友町の消防団員ら

12月23日 家族らに囲まれ長寿をお祝い

東上組町の佐々木トシさん100歳

トシさんの長寿を祝う会が自宅で開かれ、家族らが祝福しました。大正9年に土淵町で生まれたトシさんは、保健師・看護師などとして遠野病院や県保健所、市役所に勤務し、子ども1人を育て上げました。現在は、孫4人とひ孫1人に恵まれ、デイサービスを利用して自宅で穏やかに過ごしています。



家族からお祝いされたトシさん

家族からお祝いされたトシさん

12月16日 地域連携講演会「森林鉄道と地域振興」

森林鉄道と遺構の活用例学ぶ

講演会(岩手南部森林管理署遠野支署主催)は附馬牛地区センターで開かれ市民ら約40人が参加。森林鉄道の始まりから終わり、鉄道の遺構を活用した地域振興を学びました。森林鉄道研究家の矢部三雄さんが同鉄道の概要と活用例を紹介。参加者は、全国の取り組みを知り、市内軌道跡の価値を再認識しました。



森林鉄道の歴史や活用例を学んだ講演会

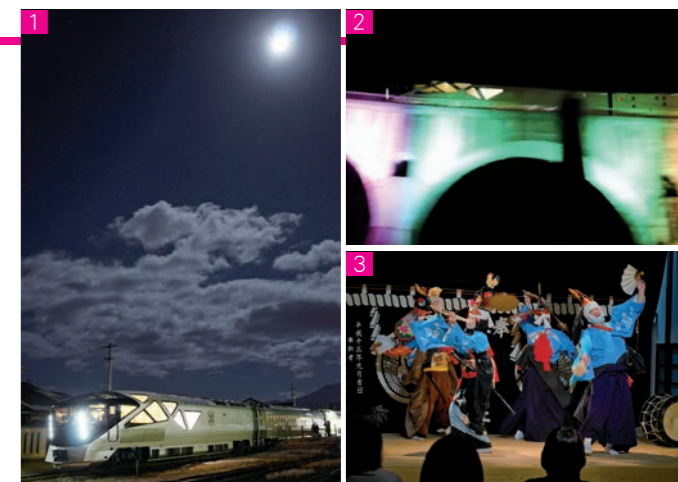
森林鉄道の歴史や活用例を学んだ講演会

12月1日~ 「TRAIN SUITE 四季島」冬の2泊3日コース

豪華寝台列車「四季島」が初来遠

JR東日本の「トランススイート四季島」は12月1日、初めて遠野入りしました。豪華寝台列車の旅先に本市が選ばれ、喜びと期待が広がっています。四季島冬の2泊3日コースは、「東北の長い冬に息づいてきた、手仕事のぬくもりと幻想的な民話の世界への旅」をテーマに上野駅を出発し、東北を巡ります。運行初日は、本市に到着した乗客28人がと

おの物語の館「遠野座」で夜神楽を鑑賞。赤羽根蔵でお土産購入を楽しんだ後、2組に分かれてジンギスカンや和懐石を堪能しました。遠野駅では遠野市観光推進協議会関係者が乗客をお出迎え。遠野産ビールと手作りのお守りをプレゼントし、遠野ならではのおもてなしで歓迎しました。四季島は3月16日まで計12回、本市に立ち寄る予定です。



1_21時半頃、遠野駅を待つ四季島(画像提供:児玉直人さん、金ヶ崎町) 2_めがね橋を通過する四季島(20時前後) 3_幻想的な舞で乗客を魅了した夜神楽(画像提供:JR東日本)